



「ファミリーショップやはた」で八幡幸子さんの仕事を手伝う林崎慶治さん。「震災で結ばれた人々との縁を大切にしたい」と支援の継続を誓う=23日、大槌町桜木町

助け合って歩みたい

応援メッセージ

大槌町大槌 大槌保育園理事長
古館潤一さん(64)
大槌町教育委員会でスポーツ分野を担当していた時に、遠野市教委に籍を置いていた林崎さんと知り合った。当時から自らの信念を貫く情熱的な性格。新築したばかりの保育園が被災して途方に暮れていた時に、園舎ののがれきのかき出しを指揮してくれたのが偶然にも林崎さんで、再会の喜びと巡り合はせの妙を感じた。苦労を顧みず、ひたむきに支援に取り組み続ける姿に勇気をもつて、自分も保育園を再開させることを決意を固めることができた。今後も助け合って共に歩んでいきたい。

向かう前の朝礼では、毎回あえて厳しい言葉を投げ掛けた。災害支援の経験があるとはいって、「津波の破壊力は想像を超えていた」。現地

NPO法人遠野まごころネット(遠野市社会福祉協議会やNPO法人認証)。発足直後から個人、団体ボランティアをすべて受け入れ、がれき撤去や物資供給のほか、被災者の精神的ケアや交流場所の設置、復興イベントの開催など多彩な支援活動を展開している。これまで派遣したボランティアは4月24日現在で約8万5千人に上る。

(文・写真 遠野支局・刈谷洋文)

同じ日線で継続支援

遠野市の林崎慶治さん

で、そんなことの連続だつた」も訪問し、八幡幸子代表(22)の仕事を手伝いながらも、思い出のかけらを必死で搜しうそつこしていいる姿を見たら、「お手伝いをさせてください」と自然に口にしていた。思えばこれまでの様子を語った。

金石市箱崎町の三貴嶋神社には、仮宿漁港から心地良い浜風が吹きつけれる。23日、遠野市上郷町の整体院経営林崎慶治さん(61)は仲間と力を合わせて復旧した鳥居を見つめ、NPO法人遠野まごころネットの初代現地隊長として訪れた震災直後の様子を語った。

「基礎しか残っていない住居跡で、黙々と地面を掘り返すお母さんがいたんだ。思い出のかけらを必死で搜しうそつこしていいる姿を見たら、「お手伝いをさせてください」と自然に口にしていた。思えばこれまでの様子を語った。

林崎さんは遠野市民有志が結成した法人で、震災直後の現地活動を指揮。海上自衛隊で災害派遣に従事し、遠野市職員時代も阪神大震災と新潟県中越地震の被災地で復旧支援に取り組んだ経験とりー・ショップ

の『あしながおじさん』。地域が復興に歩みだすきっかけをつくってくれた

と顔をほころばせると、林崎さんは「支援をしながら実際は自分の心が救われていたんだよ」と目を細めた。

全国各地から参加するボランティアを率い、被災直後のがれき撤去や家屋からの泥出などハード作業

が結成した法人で、震災直後の現地活動を指揮。海上自衛隊で災害派遣に従事し、遠野市職員時代も阪神大震災と新潟県中越地震の被災地で復旧支援に取り組んだ経験とりー・ショップ

の『あしながおじさん』。地域が復興に歩みだすきっかけをつくってくれた

と顔をほころばせると、林崎さんは「支援をしながら実際は自分の心が救われていたんだよ」と目を細めた。

張り詰めた心をほぐしたのは、住民のひた向き姿。

手を握って感謝を述べる女性、津波を免れた住居で助け合って暮らす高齢者、食料を持っていくと人数分以外は「他の人にあげてください」と譲る思いやり。人々のぬくもりと自らのふがいなさに、帰りの車中では

声を上げて泣いた。

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

タペストリーは全て着物生地を使用。表側は着物形のパッチワー

クを縫い合わせ、裏側週末曜日に集会で手

には「奇跡の本松」芸を楽しんでいる。同

じくして結構だ」。現地に評にもつながってしまう。

「もしも「やつてあげる」

という上からの意識があるならば、その気持ちは住民に伝わるし、集中力も散漫にならぬ。そんな人間は参加しないで結構だ」。現地に評にもつながってしまう。

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

タペストリーは全て着物生地を使用。表側は着物形のパッチワー

クを縫い合わせ、裏側週末曜日に集会で手

には「奇跡の本松」芸を楽しんでいる。同

じくして結構だ」。現地に評にもつながってしまう。

「もしも「やつてあげる」

という上からの意識があるならば、その気持ちは住民に伝わるし、集中力も散漫にならぬ。そんな人間は参加しないで結構だ」。現地に評にもつながってしまう。

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

タペストリーは全て着物生地を使用。表側は着物形のパッチワー

クを縫い合わせ、裏側週末曜日に集会で手

には「奇跡の本松」芸を楽しんでいる。同

じくして結構だ」。現地に評にもつながってしまう。

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

タペストリーは全て着物生地を使用。表側は着物形のパッチワー

クを縫い合わせ、裏側週末曜日に集会で手

には「奇跡の本松」芸を楽しんでいる。同

じくして結構だ」。現地に評にもつながummings

■仲間と連携

震災から100日が過ぎ、現地活動のリーダーが育つと自らは隊長を退き、声を上げて泣いた。

タペストリーは全て着物生地を使用。表側は着物形のパッチワー